



表紙・規約・編集後記・編集委員・「言語情報編」
審査委員・奥付・裏表紙

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/15964

言語文化学研究

言語情報編

第 13 号

Representations in media texts on the 2016 U.S. presidential debates TAKAGI Sachiko	1
言語の単純語の形態的タイプと合成語の意味的タイプの 相関関係について	張 麟声 19
名詞－現在分詞結合の位置づけ — 一語書きされる名詞－動詞結合との関係 —	中村 直子 37
話題の関連性を示すメタ表現とその使用条件	田中奈緒美 55

2018年 3 月

大阪府立大学人間社会システム科学研究科
言語文化学専攻

規 約

- 1) 雑誌『言語文化学研究』は、3分冊とし、それぞれ「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」とする。
- 2) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員は、雑誌『言語文化学研究』に投稿することができる。
- 3) 下記3つの範疇に属する者で、大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員の推薦を受けた者は、『言語文化学研究』に投稿することができる。
 - (1) 大阪府立大学人間社会システム科学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
 - (2) 大阪府立大学人間社会学研究科に在籍する学生および修了生、単位取得退学者
 - (3) その他特に、大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻所属の教員が認めた者
- 4) 投稿は未公刊学術論文に限る。
- 5) 原稿の査読・採否の判断その他の編集業務はすべて編集委員会の決定にしたがって行う。編集委員会は、教授1名以上を含む委員構成にする。なお、査読は複数の査読者によって行われる。
- 6) 投稿方法、原稿の書式については別に定める投稿規定、執筆要項を参照のこと。
- 7) 掲載原稿の著作権は、著者に帰属する。ただし、編集委員会は、掲載原稿を電子化し、公開・配布するための権利を有するものとする。
- 8) 掲載原稿は原則的に、大阪府立大学学術情報リポジトリOPERA (<http://repository.osakafu-u.ac.jp/dspace/>) に登録し、公開する。

編集後記

『言語文化学研究』第13号をお届けします。本誌は3分冊とし、それぞれ専門分野に応じて「日本語日本文学編」「英米言語文化編」「言語情報編」となっています。

本誌に掲載の論文は、大阪府立大学学術情報リポジトリOPERAでも閲覧可能です。

<http://repository.osakafu-u.ac.jp/dspace/>

本分冊の「言語情報編」には4本の論文の投稿があり、審査の結果、4本の論文が掲載されることになりました。

編集委員

山崎正純（「日本語日本文学編」担当）
瀧野哲郎（「英米言語文化編」担当）
中村直子（「言語情報編」担当）

「言語情報編」審査委員

（五十音順）

高垣由美 高木佐知子 張麟声 中村直子
西尾純二 宮畑一範

2018年3月31日発行
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1
大阪府立大学人間社会システム科学研究科言語文化学専攻

Journal of Language and Culture

Language and Information

Vol. 13

Representations in media texts on the 2016 U.S. presidential debates	TAKAGI Sachiko	1
On the Correlation Between Morphological Types of Simple Words and Types of Complex Words	ZHANG Linsheng	19
Substantiv-Partizip-I-Verbindungen : ist das eine Variation der Substantiv-Verb-Verbindung ?	NAKAMURA Naoko	37
Metalinguistic Expressions Indicating Inter-topic Relation and Their Conditions of Use	TANAKA Naomi	55

2018

Department of Language and Culture
Graduate School of Humanities and Sustainable System Sciences
Osaka Prefecture University